



# 不要不急の外環道建設計画は中止を

— この財源を認可保育園、特養老人ホーム増設など生活を守ることを優先に — **日本共産党**

そもそも外環道計画とは——**1億1億**莫大な予算投入



都心から約15kmの圏域を環状に連絡する道路である東京外かく環状道路の自動車専用道路として供用されている区間であり、並行する一般部の国道298号と併せて東京外かく環状道路を構成するものです。世田谷区に関しては、練馬までの16kmの大深度トンネルがつけられ、その中を2本6車線の高速道路が通ります。世田谷では、

東名ジャンクションと給田に中央ジャンクションがつけられます。東名高速とつなぐジャンクション・4本のランプ・排気筒・料金所は、喜多見・宇奈根・鎌田・大蔵の地上部につくられる予定です。沿線住民の反対で40年以上凍結されてきましたが、国はオリンピック誘致などを口実に昨年本格着工しました。総事業費は、約1兆3千億円、完成後の維持管理費は年間約50億円と算定されています。

**土壌汚染、立ち退き、大気汚染、騒音などの環境問題等々——問題山積**

外環道建設計画が本格的に着工となったことから、さまざまな問題が起きています。準備工事敷地内土壌から、鉛やフッ素、ヒ素が基準値を超えて検出され大きな問題になっています。さらに、隣接する立坑工事予定地は、事前の土壌調査を行わずに本格的な工事を始めようとしています。住民からは怒りの声が上がっています。また、東名ジャンクションだけでも、立ち退きが迫られているのは265棟にのぼります。

農業者・工業者もいます。ある鉄工所の方は「区内で約40年、区内業者を相手に事業をしてきた。立ち退けと言われても行くところがない」と語っています。他にも、排気ガスによる大気汚染・騒音・振動や野川などの環境への影響、交通量増加等々地域からたくさん不安の声が出されています。

**都の予算の使い方を変えれば暮らし応援、認可保育園、特養老人ホーム増設もすぐできます**

都の予算総額は、スウェーデンの国家予算なみの約12兆円、活用可能な積立金も8700億円あります。不要不急の大型開発やムダづかいにメスを入れれば、都民のくらし・福祉を充実させる財源は、十分あります。外環道の関越道～東名高速道路間の本線の建設だけで、1兆円以上を国と都がつぎこみます。これをやめれば、たくさん都民要求が実現します。認可保育園を3万人分増設するには780億円、外環道の国と都の負担分の7・5%でできます。特養ホーム2万人分整備するには2600億円、同じく25%でできます。

日本共産党都議団は毎年、都民のための施策を充実させる予算組みかえ案を提出しています。猪瀬都政の予算案にたいしても、一般会計予算の3・1%を組みかえることで、特養ホーム5000人分、認可保育園7500人分を増やすなど、140項目の都民要求を実現するという提案をおこないました。都民の利益にたつて予算の使い方をただせば、これだけのことが出来ます。日本共産党が躍進すれば、予算の使い方をただせます。ぜひその仕事を日本共産党にやらせてください。

**里吉ゆみは 住民のみなさんの願い実現へ全力をあげます**



日本共産党 都政対策委員長 さとよし

**里吉ゆみ**

共産党以外の「オール与党」では、不要不急の外環道などの大型公共事業をやめさせることはできません。住民のみなさんと力を合わせ、予算の使い方を変え、認可保育園や特養老人ホームの増設が実現できるよう東京都にも働きかけを強めていきます。

日本共産党世田谷地区委員会の見解を紹介します。